

はじめに

人生80年という時代に入っています。そうした中で、今児童は、知識・技能を活用する力に課題がある、学習意欲・学習習慣・生活習慣に課題がある、体力低下に課題がある、自分への自信・将来への不安といったところにも課題があるといわれています。

そうした児童にどう生きる力をつければ良いのでしょうか。

千坂小学校では、全員参加で考え、伝え合うというところに視点をあて、教師がお互い授業を見合って研究し、授業作りを進めて参りました。

今年度は、昨年までの研究をベースに、より良い考えをつくる伝え合い活動に重点を置いて探ってきました。そうした授業研究の成果がこの研究紀要です。

どこでも校内研究をしています、いったい何のためにあるのでしょうか。

児童に力をつけるため、教師の力量アップ、いろいろなことが考えられます。

企業でいうならば、それは、商品開発、新企画の提案であるという話を聞いたことがあります。とりもなおさず、学校ならばカリキュラムの開発にあたると思います。

この授業で学習課題の把握が大事だと思ったので、本物との出会いを考まてみましたとかいうように、校内研究は、そこに学ぶ児童にとっての価値ある授業づくりにあると考えています。

私は、特にこれからの児童の人生で、大事なものは、健康だと考えます。体力、気力なくして、どう生きる力を育めましょう。

こうした体力（気力）の向上を土台にして、国語・算数等の教科研究も盛んにし、学力（活用力）をさらに伸ばしていきます。

今年の研究をまとめる時期になり、1年をふりかえり、ひとりひとりの教師の前向きな姿に支えられている千坂小学校の校長で、私は幸せだと感じています。

来年度も、元気で明るい笑顔、追求心に満ちた千坂っ子のために、新しいメンバーでまた力を合わせ研究を続けるつもりです。

最後に、これまで千坂小学校の研究推進にあたり多大なご支援をいただきました金沢市教育委員会の皆様をはじめ、ご助言をいただきました市内各小学校の先生方、大学の先生方に深く感謝を申し上げます。

金沢市立千坂小学校

校長 高安 孝人

